

高石市教育委員会定例会会議録

(平成 26 年 8 月定例会)

開会及び閉会の年月日時

開 会	平成 26 年 8 月 13 日午前 10 時 36 分
閉 会	平成 26 年 8 月 13 日午後 3 時 00 分

会議に出席した者の職及び氏名

委 員	委 員 長 : 佐 野 慶 子 委員長職務代理者 : 西 中 隆 委 員 : 西 村 陽 子 委 員 : 吉 村 文 一 教 育 長 : 藤 原 一 広
事務局職員	教 育 部 長 : 浅 井 淳 一 教育部理事兼次長 : 細 越 浩 嗣 教育指導課長 : 吉 田 種 司 教育指導課長代理兼人権教育推進室長 : 松 田 訓 一 教育研究センター所長 : 清 水 寛 之 生涯学習課長 : 杉 本 忠 史 生涯学習課参事兼課長代理兼青少年対策室長 : 射 手 矢 浩 幸 生涯学習課参事兼体育館長 : 矢 部 正 信 たかいし市民文化会館長兼図書館長 : 石 田 直 美 中央公民館長 : 松 井 勉 教育総務課長代理兼総務係長 : 山 本 敬 司 教育総務課総務係主査 : 足 立 和 哉

議題及び議事の要旨及び議決事項

・ 議案第 1 号 平成 27 年度使用高石市公立小・中学校教科用図書採択について

教育指導課長	<p>本案は、平成27年度に高石市の児童生徒が使用する教科用図書についての採択をいただきたく、市教育委員会の議決を求めるものである。</p> <p>中学校の平成27年度使用教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書無償措置に関する法律第14条及び同法施行令第14条第1項により、平成26年度使用教科用図書と同一の教科用図書を採択しなければならない。したがって、中学校の平成27年度使用教科用図書については、平成27年度使用中学校教科用図書採択一覧の教科用図書を採択することで承認いただきたい。</p> <p>小学校については、平成26年度に義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同法施行令第14条第1項により示されております前回採択の教科用図書の使用期間4年目を迎えている。それに伴い、本市においても、平成27年度小学校使用教科用図書について採択替えが必要となる。については、審議のうえ、教科用図書の採択を決定していただきたい。</p>
教育部理事	<p>選定に至る経過は、高石市義務教育諸学校教科用図書選定委員会規則に基づき、本年4月より教科用図書の採択準備に取りかかったところである。小学校校長1名、保護者代表1名、教育委員会事務局2名からなる第1回選定委員会を5月20日に開催した。2市1町で5月16日に2市1町教科用図書選定資料作成委員会及び調査委員会を開催し、教科用図書採択に係る調査資料の作成に取りかかり、約1カ月半の調査を経て報告書をまとめていただいた。なお、2市1町教科用図書選定資料作成委</p>

	<p>員会は、本市と泉大津市、忠岡町の2市1町で設置しており、構成としては選定資料作成委員に2市1町の小学校教頭を9名任命し、選定資料作成のための調査員には、同じく2市1町の小学校の教諭を29名任命した。</p> <p>続いて、7月2日に2市1町で平成27年度使用教科用図書選定資料説明会を開催し、教科用図書選定資料作成委員会の調査に基づき作成された報告書の説明を受けるとともに、第2回選定委員会を開催した。</p> <p>その後、第3回選定委員会を7月14日に開催し、前回の7月2日の報告をもとに、各種目・教科の選定について検討をした。</p> <p>本日は、選定委員会で検討した結果を私が選定委員長として机上の資料と合わせて教育委員会に答申する。また、各委員からの質疑については、選定委員会のメンバーである教育指導課長より報告する。</p>
佐野委員長	<p>これまで委員自身も責任の重大さを認識し、研究も進めてきたが、何分各種目の専門家でもなく、全ての教科用図書をくまなく研究し尽くせるものではない。ここは、調査員が調査研究をし、選定資料作成委員会からの報告をもとに導かれた選定委員会からの答申をいただきながら審議を進めていきたいと思うが、いかがか。</p>
各委員	異議なし
佐野委員長	最初の種目、小学校の国語について審議を行う。
西中委員長 職務代理者	<p>国語について、膨大な教科書があるが、選定委員が十分検討してその特徴についてまとめていただいていると思う。</p> <p>各社の教科書の特徴を教えてください。</p>
教育部理事	<p>国語については5社あり、各社とも話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの各領域にそれぞれ言語活動が具体化されている。</p> <p>各社の特徴として、東京書籍は、活動の目当てが単元の冒頭にわかりやすく提示されている。特に話すこと、聞くことの領域で、メモをとって自分の考えをまとめたり、写真や表、グラフを活用し考えを述べたりする活動を取り入れている。学校図書は、特に話すこと、聞くこと、書くことの領域で、冒頭に単元の学習の流れが図示され、見通しを持った学習が展開できるように配慮されている。三省堂は、特に書くことの領域で単元の学習の流れが図示されたり、情報の収集や整理の方法について具体例が示されるなど、児童が見通しを持って学習を進められるようにしている。教育出版は、特に書くことの領域で学習の進め方に情報の収集、文章の構成、整理の方法など学習の流れが図示されている。光村図書は、話すこと、聞くこと、書くことの領域で単元の学習の流れが図示され、見通しを持って学習を進められるように工夫されている。</p>
西村委員	選定委員会の答申としては、どのようになっているのか。
教育部理事	<p>国語について、選定委員会の中では、物語文と説明文の教材は適切か、親しみのある物語文の配置があるほうがよい、各領域別の言語活動の取り扱いの箇所数は適切か、教科書で多くの図書を紹介してほしいといった意見があり、意見を総合して、採択の教科用図書としては、東京書籍と教育出版と光村図書の3社の教科用図書を挙げさせていただきたい。</p>
吉村委員	<p>配付された答申資料の中の教科の目標のところに「国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる」とあるが、今示された3社は、この点の配慮はどうなっているのか。</p>
教育指導課長	<p>3社とも、児童の興味を引く内容の文書を多く取り扱っている。特に、説明的な文章では、興味深く読ませようという工夫がされている。</p> <p>例えば、3社の特徴的な部分として、東京書籍では、動物をテーマにしたものや新聞・テレビ等のメディアをテーマにしたもの、教育出版で</p>

	<p>は、大自然や生き物をテーマにしたり、遊びやおもちゃを題材にしたもの、光村図書では、防災、食育、情報など、今日的な話題をテーマにしたものなど、各社児童の生活に身近な題材を取り扱っている。</p> <p>また、伝統的な言語文化を学習する機会を設ける、それらに親しみ、新たな創造へとつないでいくようにすることが大切であり、各社とも工夫をしているように思う。</p>
藤原教育長	<p>伝統的な言語文化を学習する機会という説明があったが、もう少し説明してほしい。</p>
教育指導課長	<p>これについても、3社とも神話や伝承を知り、日本文化や伝統に関心を持たせる資料の充実が図られている。古文、漢文、俳句や短歌、また狂言等の多種多様な題材を取り上げている。</p>
吉村委員	<p>答申資料の「子どもたちにつけたい力」のところで、国語による正確な理解、正確に理解する力、国語による適切な表現をする力というのがあるが、具体的にどのようなものを指しているのか教えてほしい。</p>
教育指導課長	<p>学習指導要領の中に国語の目標が示されており、国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めることと、思考力や創造力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てることということになっている。特に、国語による表現力と理解力とを育成することが、国語科の最も基本的な目標でもある。まず、正確に理解する力とは、国語の使い方を正確に理解する能力と国語で表現された内容や事柄を正確に理解する能力の両面の能力と考える。</p> <p>次に、適切に表現する力とは、国語を適切に使う能力と国語を使って内容や事柄を適切に表現する能力の両面あると考えている。</p>
吉村委員	<p>学力向上プランニングシートで、多くの市立小・中学校が聞くこと、話すこと、読むこと、書くことというのを課題として挙げているが、教科用図書ではこれらを実践するにははどういうことが大切と考えているか。</p>
教育指導課長	<p>確かに、学力向上プランニングシートにはそのように各学校とも取り組んでいくということで記載している。まず、表現する力を高めるためには、言語活動を多く取り入れてほしいということも挙げられる。子どもたちが言語活動を行う経験を多く持つように機会を設けること、言語活動をどのように進めれば活動が充実できるかのポイントが適切に示されているかということが大切と考える。その点については、東京書籍、光村図書がより配慮されているように感じる。単元末の手引きのページでは、多様な学習活動や学習方法が具体的に示されている。学習した作品だけでなく、他の作品までつなげていくための工夫が、この2社はされているように思う。</p>
西中委員長 職務代理者	<p>各社ともそれぞれよくやっているが、光村図書が特に話す、聞く、書く、読むといったその学習の目標が非常に明確に示されていて、子どもたちが国語を学習するのに目標を持って取り組むことができるということで、非常によいのではないかと感じた。</p>
教育指導課長	<p>各社とも、単元を大切にしたい、聞くこと、話すこと、読むこと、それと書くことの目標を明示している。巻末に活動をまとめているが、特に光村図書の、例えば5年生の教科書について、6ページは目次のページになるが、目標の明示とともに活動の具体的な内容まで示されており、子どもたちにわかりやすいように配慮されていると考えている。</p>
西村委員	<p>高石では、読書活動にも随分力を入れてきていると思うが、十分な成果が得られていないと思う。そういう意味で、読書に親しむための仕掛けや工夫がなされていることが大事な部分であると思う。自主的な読書活動という意味の、自主性も含めた指導が必要だと思う。</p>

教育指導課長	<p>学力向上プラン等についても、各学校で読書活動の充実ということが挙げられている。読書習慣をつけるには、児童の興味をひく作品をより多く取り上げて、適切に本の紹介がなされていることとともに、高学年では、特に児童自身が年間の見通しを持って自主性を育てることが大切だと考えている。そのためには、文学的な文書、それから説明的な文書、それから詩歌等をバランスよく読めるよう配置されていることが大切だと考える。特に、光村図書では、3・4年にあまんきみこさんの作品、4・5年に新美南吉さんの作品と、複数学年にまたがって同じ作者の作品が掲載されており、児童が「あの作品の作者だ」と興味を持って作品に入り込めるような配慮もなされている。</p>
西村委員	<p>東京書籍や光村図書では、単元の後ろに、本の紹介ページが設けられているが、表紙の写真も載っているし、それぞれの本が物語や詩とか、どういった傾向の本だという分類もされているのでとてもいいと思う。特に光村出版が見やすく、この本を順番に読んでいこうという気持ちを子どもにさせるので、とてもいいと思った。</p>
西中委員長 職務代理者	<p>国語の学習では、物語文をどのように読ませるかというのは非常に大事な要素の一つではないかと思う。「大造じいさんとガン」という椋鳩十さんの作品が、各社で取り上げられている。この物語を読むに際して、どのように読んでいくか、何がこの物語で大事なのかということ、各社とも取り扱っているが、各社割合簡単にその説明をしているし、またいきなり物語に入っている教科書もある。しかし、特に光村図書の場合は、物語に入る前の前提となるいろいろなこと、あるいはそれに導入されるようなリード文が非常に丁寧に書かれてあった。これを読んで作品に取りかかると、非常に良いと思った。これは同じ題材であるので、課題設定が適切にされていることが、非常に特徴的なことだと思った。</p>
佐野委員長	<p>小学校国語の教科用図書は、光村図書の教科用図書を採択することに異議ないか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
佐野委員長	<p>次に書写について審議を行う。</p>
藤原教育長	<p>各社の教科書の特徴を教えてください。</p>
教育部理事	<p>書写は6社あり、書写に関する事項について、各学年で適切な指導内容を取り上げている。また、実際の日常生活や学習活動に役立つ書く活動についても充実をしているという意見が選定委員会で出ている。</p> <p>東京書籍では、各学年で「ノートに書こう」というページが設けられて、ほかの教科の学習に活用できる内容を掲載し、書く活動に関連できるような工夫がされている。学校図書は、ノートやメモなどに書く場面を設定し、横書きや原稿用紙の書き方などに段階的に触れるように構成されており、書く活動の充実が図れるよう工夫されている。三省堂は、文を書くことに重点を置き、原稿用紙やノート、カードやポートレートなどの書き方が学べるように構成され、書く活動に関連できるよう工夫されている。教育出版では「トライ&チャレンジ」のページでノートの書き方など教科の学習に活用できる内容が掲載され、横書き、原稿用紙の書き方なども扱われており、書く活動の充実が図られるよう工夫されている。光村図書は、横書きの書き方、国語や他教科で生かせるような手紙や新聞の書き方などが示され、学んだことを生かせるよう工夫されている。日本文教出版は、「もっと書こう」のページで、説明文や報告文、意見文など、国語科の内容での活用に役立つように構成され、書く活動の充実が図れるように工夫されている。</p>
吉村委員	<p>今の特徴を踏まえた選定委員会の答申はどうなっているのか。</p>

教育部理事	<p>選定委員会では、ふだん使いなれない筆の使い方について、子どもたちにわかりやすいことが大切であるとか、筆の持ち方や姿勢などがわかりやすいほうがよい、筆の書き始めのところについて具体物を描いたイラストで提示しているのはよいといった意見があった。特に、折り紙と三角定規は非常にわかりやすいという意見があつて、その意見を総合し、採択の教科用図書としては、東京書籍と学校図書と日本文教出版の3社の教科用図書を挙げさせていただいた。</p>
佐野委員長	<p>資料の「子どもたちにつけたい力」の中に「実生活において活用できる力」とあるが、そのためには教科用図書においてどのようなことが大切か。</p>
教育指導課長	<p>昨今、パソコン、スマートフォン等デジタル機器が広く普及し、私たち大人も子どもたちも字をしっかりと書く機会や時間がどんどん少なくなっているように感じている。そこで、書く活動をしつかりと行うとともに、日常生活の書く活動につなげる工夫がなされていることが大切であると考え。その点については、各社さまざまな工夫や配慮がなされておるようになって感じている。</p> <p>まず、東京書籍では、身の回りの文字や世界の文字、いろいろな時代の文字などを探してみようというコーナーを設け、子どもたちの興味関心に応じ、生活の中の文字の活用につなげるように工夫をされている。学校図書は、手書き文字とコンピューターの文字比べ、児童の回りに使われている書写など、身近な生活と文字とのかかわりが紹介されており、興味関心に応じて書写学習を発展できるように工夫をされている。日本文教出版では、手紙の書き方、お勧めの本を紹介するリーフレットの書き方などについて取り扱うなど、実用的な書式を教材化することにより、発展的な学習につなげることができるよう工夫をされている。</p>
藤原教育長	<p>教科用図書に求めたいポイントに「文字の組み立て方、文字の形、大きさに注意して書けるような工夫がなされていること」とあるが、どのような工夫がなされているのか、教えてほしい。</p>
教育指導課長	<p>3年生から毛筆が始まる。この指導では、ふだん使いなれない筆について、具体的な筆の置き方や筆の運び方などといったことが子どもたちにわかりやすいことが非常に大切だと考えている。筆運びを、例えば音でトン、スー、ピタと言葉とリズムで表したり、朱墨や薄い墨を使って見やすく表記するなど、3社ともそれぞれ工夫をされているように思う。</p>
西村委員	<p>3社ともそれぞれの工夫が見られるということであるが、それぞれ工夫されている中でも、今のような点をより配慮されていると考えられるのはどの出版社の教科用図書か。</p>
教育指導課長	<p>選定委員会では、書写の教科用図書は、例えば夏休み等長期休暇中の課題という形でも出されることが多いという話が出た。教科用図書を見ながら、保護者と子どもが簡単にポイントをつかめることも大切であるという意見もあった。その点では、調べよう、確かめよう、広げようという流れで基礎基本からまとめにつながるよう題材が構成され、また指導する事項が太字のゴシック体や色を変えて示され、丁寧に扱われている東京書籍がよいと考えられる。例えば、東京書籍の3年の11ページの毛筆の部分で、字を書く際に気をつけるポイントが左端に示されている。文字の黒の墨以外でポイントを示してわかりやすくするように工夫されている。また、8ページには、横、角の書き方の注意点が見直されるように工夫をされている。</p>
吉村委員	<p>東京書籍は他社に比べてワイド版で見やすいというところもいい感じがする。</p>

西中委員長 職務代理者	<p>文字を書くときにお手本になるものがワイドになっていると、ゆったりとしており、非常にいいように思う。</p> <p>それから、東京書籍で感心したのは、筆とか墨で、子どもたちが使う道具について、その道具をどのようにつくられているかということを教科書に載せている。書というのは日本の伝統文化になるので、そういうものに関心を持たせるというのは、非常にいいのではないかと思った。</p>
佐野委員長	今の質疑、報告書を踏まえて、小学校書写の教科用図書は、東京書籍の教科用図書を採択することに異議ないか。
各委員	異議なし
佐野委員長	次に、小学校社会について審議を行う。
吉村委員	各社の教科書の特徴をお教えてほしい。
教育部理事	<p>社会については4社であり、各社とも教科の目標にある公民的資質の基礎を育むための配慮がされていた。公民的資質の基礎を養うためには、学習活動を通して社会生活についての理解を深め、社会的な見方や考え方を養うとともに、問題解決的な学習を一層発展させ、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を養うことが大切だと考えている。</p> <p>東京書籍では「生かす」のコーナーを設け、学習したことをもとに学習を広げることができるように配慮されている。教育出版では、「つかめる」のコーナーを設け、これまでの学習を生かして、日本や世界のこれからを考えることができるように配慮されている。光村図書では、「まとめる」「広げる」のページを設け、学習を通してわかったことや考えたことを話し合う活動が行えるように配慮されている。日本文教出版では「振り返ってみよう」と「大きくジャンプ」のコーナーを設け、学習の振り返りを行うと同時に、これまでの学習を生かして考えることができるように配慮されている。</p>
藤原教育長	選定委員会の答申はどうか。
教育部理事	社会について選定委員会では、東京書籍は、バランスよくまとまっている。教育出版は、單元ごとにまとめるページがあり、学習の整理定着はしやすい。光村図書は、学年1冊にまとまっており、調べ学習がしやすい個性的な教科書である。また、日本文教出版は、内容がよくまとまっている等の意見があった。4社とも採択の教科書にふさわしい、絞る必要はないのではないかというような意見が出て、東京書籍と教育出版と光村図書、日本文教出版の4社全てを教科用図書として答申させていただきたいと考えている。
西中委員	特に国際的に問題になっている日本の国土の問題をどのように扱うかということは、子どもたちに国土を理解する上で非常に大事な内容だと思う。これについての取り扱いはどうになっているか。
教育指導課長	我が国の国土に対する部分であるが、我が国の領土の範囲はもちろんのこと、北方領土、竹島、尖閣諸島についても、5年生、6年生において、4社とも取り扱っている。
西村委員	伝統的な文化などの取り扱いについては、それぞれどのように触れられているのか。
教育指導課長	地域で受け継がれてきた文化財、それと地域の発展に尽力された先人の方、古くから伝わる年中行事などの紹介を通して、児童が我が国の伝統的な文化に触れることができるよう、4社ともに工夫を凝らしているように思う。
藤原教育長	社会の教科書は、サイズが大き目だと思うが、これについてはどうか。
教育指導課長	4社ともサイズが大きいワイド版となっている。社会については、写

	真やイラストなど具体的な資料や地図やグラフなどの基礎的な資料を子どもたちが見たり考えたりする上でとても活用しやすくなっているように思う。特に、東京書籍、日本文教出版については、覚えさせたい、覚えたい大事な内容につきましては、語句をゴシック体で表記するなど、工夫されているように思う。また、日本文教出版においては、使用単元に提示されている写真、絵、グラフ、地図などの資料が大変充実しており、子どもたちが調べ学習や発展学習に取り組みやすいよう配慮されている。
佐野委員長	社会の場合、理解を深めたり学習意欲を高めたりするには身近な資料があるほうが良いと思う。その点で、本市に合致すると考えられるのはどの出版社の教科用図書か。
教育指導課長	身近な資料があるということは、地域で採択を行う大きな理由の一つだとも考えている。その点で考えると、関西の資料の掲載が多いこと、また、3・4年の下の折り込みになっている日本文教出版の106ページに「稲むらの火」を4年生で取り上げている。本市は毎年11月5日に防災訓練を実施しているが、日本文教出版はこの防災教育を全市的に進めていく上でも、内容が合致しているものと考えている。
藤原教育長	日本文教出版は、「私の問題」とか「私の見方、考え方」の投げかけによるきっかけづくりや「振り返ってみよう」による学習内容の定着を図るための振り返り活動が充実しているようなので良いと思う。
西中委員長 職務代理者	日本文教出版の6年の折り込み年表は、6ページにわたっており、非常におもしろいと思ったのは、自分の年表づくりというのをやっている。これは他社にない一つの特徴で、いろいろ細かい配慮がなされているのが非常にいいのではないかと思う。
佐野委員長	今の質疑、報告を踏まえて、小学校社会の教科用図書は、日本文教出版の教科用図書を採択することに異議ないか。
各委員	異議なし
佐野委員長	次に、地図について審議を行う。
教育指導課長	地図については、出版社が東京書籍と帝国書院の2社である。この2社の特徴として、東京書籍は、帝国書院に比べてワイド版になっており、柔らかい色使いで見やすくなっている。一方、帝国書院は、地図や資料等が充実しているように感じている。
西村委員	地図を教材として使う場合、どういったことが大切になってくるのか。
教育指導課長	地図を子どもたちが主体的に活用できるよう、子どもの興味関心を引きつける資料が充実していること、また資料が見やすく活用しやすいように工夫されていることが必要であると考えている。
西村委員	今のような点で、より配慮されていると考えられるのはどちらの地図か。
教育指導課長	例えば、東京書籍の75ページに日本の都道府県の統計という統計一覧表がある。色使い等の工夫により、見やすい配慮がされている。また、29ページの近畿地方の地図についても、大きく見やすくなっており、その次のページは、奈良や京都の町についてガイドマップ風に紹介されている。帝国書院にも同様の資料があるが、資料が見やすい、活用しやすいという点において、東京書籍の地図のほうがよりわかりやすいのではないかと考えている。
西中委員長 職務代理者	同じ内容を比較しても、東京書籍のA4版は、大きくなって子どもたちが学習するというのであれば、非常に資料等が見やすい。版が大きいというのは一つの強みだと思う。A4はランドセルに入るのか。
教育指導課長	選定委員会でも昨今のランドセルについての話題が出ている。この地

	図はA4サイズであるが、他種目の教科書の絵図でもA4サイズのものもあり、またランドセルもA4サイズのクリアファイル対応というのがほとんどであるので、大丈夫と考えている。
佐野委員長	東京書籍の地図で、この奈良・京都の町がガイドマップ風に紹介されているのはとてもいいと思うが、本市の小学校で奈良や京都に旅行や遠足で行っている学校があるか。
教育指導課長	本市の小学校、中学校も含めてであるが、奈良・京都に校外学習で多く行っている。本市は小学校が7校あるが、昨年度7校中5校、奈良・京都方面に校外学習に行っている。
佐野委員長	今の質疑、報告を踏まえて、小学校地図の教科用図書は、東京書籍の地図を採択することに異議ないか。
各委員	異議なし
佐野委員長	次に、小学校の算数について審議を行う。
藤原教育長	各社の特徴を教えてください。
教育部理事	<p>算数については、6社あり、6社とも創意工夫がされていると選定委員会でも意見が出ている。また、本に応じた資料についても配慮されていて、特に学習内容を確実に身につけるための取り組みが充実していると考えている。登場人物についても、男女の平等化が図られたり、6年生の内容では、中学校との接続も取り上げられており、各社とも充実している。</p> <p>東京書籍については、単元末の力をつける問題や仕上げ、巻末に補充の問題、学年末に復習のページが設けられている。大日本図書では、単元末の「まとめの練習」で学んだことを定着させるための問題が掲載され、巻末の「レッツトライ」でさらに補充の練習問題を、「まとめの練習ページ」では、振り返りと補充問題が選んで取り組めるように工夫されている。学校図書では単元末の練習、力試しで学んだことを定着させる問題に取り組めるようにしており、また、巻末に力をつける問題として、サポート、補充問題が設けられるなど工夫されている。教育出版では「単元末のまとめ」「力を伸ばそう」で、単元の習熟に取り組むことができるよう工夫されており、また、つまずきがある場合は、どのページに戻るか示されている。啓林館では「単元末に確かめましょう」「復習」が用意され、巻末の「発見算数島」の中の「もっと練習」で補充問題を取り上げている。日本文教出版では、単元末の確かめポイントに、学習したページが掲載され、振り返りができるようにされている。また、複数単元の補充として、復習や巻末の算数マイトライのじっくりチェックが用意されている。6社とも、復習や練習の問題に非常に力を入れていると考えている。</p>
西中委員長 職務代理者	6社がそれぞれ算数の学力向上にいろいろと留意をして、いい教科書であるが、選定委員会の答申はどのようなになっているか。
教育部理事	選定委員会では、自分の考えたことや理由等を表現したり、友達に説明したりする活動を多く取り上げていることが大切である、あるいは、学習内容の定着のために、練習問題が豊富なほうがよい、単元のつながりに大きな変化がないほうがよい、練習問題は豊富であるけれども、その問題の難易度は余り難しくしないほうがよいというような保護者の意見もあった。それらの意見を総合して、採択の教科用図書としては、東京書籍と大日本図書と日本文教出版の3社の教科用図書を挙げさせていただいた。
吉村委員	3社の教科用図書について、答申資料の「目標」のところで「日常の事象について見通しを持ち、筋道を立てて考え、表現する能力を育てる」という項目があるが、それぞれどのように配慮されているか説明し

	てほしい。
教育指導課長	<p>3社のどの教科用図書も見通しを持って学習活動を進めることができるように工夫はされている。また、児童が自分の考えたことや理由等を表現したり、友達に説明したりする活動を多く取り上げている等、配慮も見られる。</p> <p>例えば、東京書籍の教科書の3年生下の16・17ページは「算数マイノートをつくろう」というページを設定している。学習の流れをノート資料を通してつかめるように工夫されている。また、大日本図書の3年生の4ページ、5ページには「算数の学び方」のページを設定しており、学習の流れを子どもたちがつかめるように工夫されている。また、日本文教出版の2年生以降の上の最終ページに学習の流れを子どもたちがつかめるように切り取り線で切り取れるようになっており、確認しやすいように工夫されている。</p>
西村委員	資料によると、学習内容の定着が図りやすいように工夫されていることも重要だとあるが、学習内容の定着という意味から適切と考えられる教科用図書はどれか。
教育指導課長	<p>学習内容の定着のためには、既習の内容を使って新たな課題の解決を考えていくという単元のつながり、また系統性が大事なポイントであると考えている。現在、本市では、1より小さい数、端数を表現していく学習の単元のつながりとして、3年生で小数を学習し、その次に分数を学習している。しかし、今回の出版社によっては、分数を学習してから小数の学習を行うというつながりの教科用図書もある。これについては、今までの単元の系統性、また教材研究の継続といった観点から、指導者側に混乱をもたらす可能性があり、そのことにより、学ぶ児童側にも影響が出るのではないかという意見が選定委員会でもあった。その点を見ると、現在本市で実施している単元の系統性のもとに作成されている東京書籍と日本文教出版が適切であるのではないかと考えている。また、学習したことを反復練習する機会を確保することが大切であると考える。その点では、練習問題をたくさん掲載している日本文教出版が充実していると考えている。</p>
西中委員	<p>日本の子どもの算数・数学の学力というのは、世界的に非常に上位であるが、最近世界的な調査ではややよくないという現象もあるように聞く。特に、小学校でつまずいた子どもたちが、中学校に行ったとき非常に数学嫌いになって、それが将来的に理数科の学習に非常に障害になるという傾向があると思う。つまずきがちになる子どもにも十分教科書で学習できるという配慮をしている教科書というのはどれか。</p>
教育指導課長	<p>選定委員会でも、高学年でつまずいて、中学生になってさらに数学が嫌いになるという子どもが出てきている、高学年になっても算数に興味を持てるような教科用図書、見ていてわかりやすい、見てわかりやすい教科用図書が望ましいのではないかという意見があった。3社とも工夫をされているが、特に日本文教出版の教科用図書は、他の教科用図書と比べて、横に広いワイド版になっている。4年上の85ページでは、大きくなっている部分で青の帯のところに学習活動のポイント等が大きく記載されて、子どもたちが、わかる、できる、学習を進めることができるように配慮されている。</p>
吉村委員	先ほどの地図と同じで、こういう教科書もワイド版になり、いろいろと工夫ができて見やすくなっているのはいいことだと思う。
教育指導課長	ワイドになっている部分で、例えば同じ4年生上の73ページは、確かめポイントというページで、先ほどと違いピンクの帯が右側にあって、ここにそれぞれページ数が打ってある。こちらに問題がわからないとき

	に、どのページに戻ったらいいのかというのが示されていて、そのページを見返すことによって、より理解ができるように工夫をされている。
佐野委員長	今の質疑、報告を踏まえて、小学校算数の教科用図書は、日本文教出版の教科用図書を採択することに異議ないか。
各委員	異議なし
佐野委員長	次に、小学校理科について審議を行う。
吉村委員	各社の教科書の特徴を教えてください。
教育部理事	理科については5社あり、各社とも、見通しを持って観察・実験を行う工夫について配慮されている。 例えば6年生の東京書籍の14ページでは、最初にその実験に関して問題をつかもう、予想しよう、計画しようという問題解決学習の過程が側注に緑色のラインで示されており、見通しを持って問題を解決する能力が育まれるように工夫されている。続いて、6年生の大日本図書の10ページの最初のところに、クエスチョンマークがついており、「瓶の中で物が燃え続けるためにはどのようにすればよいのだろうか」という問題では字を大きくしたり、「予想しよう」とか「計画を立てよう」など自分の考えを他者に伝える場面を取り入れられたりして、見通しを持って問題解決が行えるように工夫されている。学校図書の6年生の9ページは、「物の燃え方」のクォーテーションマークのところで「ろうそくに火をつけて、集気瓶の中に入れてみましょう」をオレンジ色の字で示し、まず見て、触れて、考える活動が設けられるなど、事象との出会いを大切にしている構成になっている。教育出版の6年生9ページは鉄腕アトムのキャラクターを「やってみよう」で示して、身近にある不思議な事象を扱い、その後の11ページの「はてな」というところで考えさせ、問題意識を持たせるよう工夫されている。鉄腕アトムのようなイラストや吹き出しを用いての予想の考え方の例が示され、自ら問題を解決していく学習の流れになるよう構成されている。啓林館の特徴は巻末に「わくわく理科プラス」という別冊がついている。「わくわく理科プラス」の2ページの「学習の初めに」では、学習前の自分の考え方を書き込み、問題意識が持てるように工夫されている。自由研究に続いて、「科学の目で見てみよう」が掲載されて、科学的な考え方のポイントがつかめるように構成をされている。
藤原教育長	各社の特徴を踏まえて、選定委員会の答申はどうか。
教育部理事	理科について、選定委員会では実験や観察を多く取り扱っているものがよい、あるいは導入からまとめまでの流れがわかりやすいものがよい、環境学習に関係した内容が豊富なものがよいというような意見があった。そういった意見を総合して、教科用図書としては、東京書籍と大日本図書と学校図書の3社の教科用図書を挙げさせていただきたい。
吉村委員	答申資料の教科の目標のところで「自然の事物、現象についての実感を伴った理解を図り」とあるが、3社の教科用図書で、その配慮はどのようになっているか。
教育指導課長	その点については、3社とも観察・実験を通じた理解につなげることができるよう活動を充実するとともに、社会・実生活を関連づけることを大切にしている。さまざまな配慮や工夫がなされている。例えば、東京書籍4年生の132ページに「理科の広場」がある。「理科の広場」は、いろいろな単元の中で掲載されている。こちらでは、職業や生活と関連した内容が記載され、このページでは、水をめぐるということで、雲・雨の動きであるが、関連性が捉えられやすいように工夫をされているように思う。大日本図書の4年生の巻末には、「科学者の言葉」が掲載されており、理科の学習と人間社会とのつながりを見出せるように工

	夫をされているように感じる。また、学校図書の4年生124ページの熱による金属の膨張等の部分では、「仕事に生かす、暮らしに生かす」が掲載されており、理科の学習と実生活のつながりが示されるように工夫している。瓶などのふたが開かないときにどうしたらいいんだろうというようなことが示されている。また、特に、大日本図書の114ページでは、「理科の玉手箱」というコラムがある。こちらでは、知識や技能を日常の現象解明に活用できる内容を盛り込んでおり、非常に配慮されていると思う。レールのつなぎ目の部分が、熱によって金属が伸びて、そのことで事故が起こらないようになっているということが示されている。
西中委員長 職務代理者	学習指導要領には必ずしも内容的に明示されていないが、「理科の玉手箱」は単元で学習した内容を発展的に学習する、あるいは子どもたちが興味を持ってさらに深めていくという題材をまとめているので、非常にいいと思う。
佐野委員長	理科離れをとめる一つの方法と思う。
藤原教育長	資料のポイントに、「観察や実験を正確・安全に実施できるように丁寧な説明等がなされていること」とあるが、その点への配慮についてはどうか。
教育指導課長	理科には観察・実験等が伴うので、この点について、3社とも安全に対する配慮が必要な場面には危険マークや注意マークという色のついた文字で示されているとともに、非常に大事なポイントだと思うが理科室の使い方のページがそれぞれ設けられ、理科室の使用に関する基本的な注意点が説明されている。
西村委員	理科の教科用図書を見ると、社会と同じようにサイズがワイド版となっているが、この点についてはどうか。
教育指導課長	各社ともサイズの大きいワイド版となっている。理科も社会と同様、写真、イラストなど具体的な資料や観察・実験の方法などを子どもたちが見たり観察・実験を行ったりする上で、ワイド版になっていることにより、とても活用しやすくなっている。学校図書では、非常に写真が鮮明であるという意見が選定委員会でも出ている。また、大日本図書では、写真の重なる部分がうまく配置されて、特に見やすくなっているという意見があった。
佐野委員長	今の質疑、報告を踏まえて、小学校理科の教科用図書は、大日本図書の教科用図書を採択することに異議ないか。
各委員	異議なし
佐野委員長	次に小学校の生活について審議を行う。
吉村委員	各社の教科書の特徴を教えてください。
教育部理事	生活については7社ある。生活という教科については、小学校低学年の1・2年生が使う教科書ということで、非常にどの教科書もわかりやすく、幼保、あるいは幼保の連携、小学校のスタートプログラムや教科書を使う教員に対してもサポートの配慮された教科書が多いと考えている。特に、自分の良さや可能性に気づいて意欲と自信を持って生活できるような配慮がされている。 それぞれの教科書であるが、東京書籍では、上の2ページに、まず「自分でできるよ」というところがある。この「自分でできるよ」というのは、随所にあり、家庭でできることが取り上げられており、自分の成長に気づくことができるように工夫されている。また、「あしたヘジャンプ」というところがあって、そこには自分や友達の成長を振り返る様子が掲載され、さらに未来の自分への手紙の欄が設けられるなど、配慮がされている。大日本図書では「自分発見」というページがあって、

	<p>自分や友達のすてきなところを見つけたり、自分の成長を振り返ったりする活動が取り上げられており、身近な人に感謝の思いを伝えることなどの配慮もされている。また、大日本図書の特徴で上の52ページの「生き物と仲よし」の欄の真ん中に透明シートが挟まれており、こういうシートを使っているのは、この大日本図書だけである。学校図書については、「みんなのすてき発見」でお互いを認め合う活動や自分の成長を自分の物語として紹介するなど、これらの生活に意欲と自信が持てるよう配慮されている。学校図書だけほかの教科書よりもワンサイズ大きいので、低学年としてまた一層見やすくしているというのが特徴である。教育出版の80ページでは、「家族にここに大作戦」が設定されて、家族の一員として成長を感じられるようにしており、また「自分のすてきを探そう」というページでは、自分や友達のすてきなところを伝えたり、家族と自分の成長を喜び合ったりする姿が紹介されるという配慮があるが、特に、「家族にここに大作戦」では、家族が3世代になっていたりとか、さらに3世代写真と外国人の家族も載っており、そういう部分が特徴であると考えている。光村図書については、上の8ページに、ポップ、ステップ、ジャンプというページが段階にあって、自分の成長を振り返られるようにしており、また「みんなのここに大作戦」では、家族の一員として役割を果たしたり、自分にできることを増やしたりする活動が掲載されているなどの配慮がされていた。啓林館については、「自分の物語をつくろう」というところで、自分のよさや成長を振り返る活動等を通して、身近な人々に感謝の気持ちを持つことができるように配慮されていたり「別冊探検ブック」があって、この探検ブックを使って興味関心が高まるようにしていくというのが特徴である。日本文教出版は「一緒にいると安心」という部分で、家庭での役割や自分の成長を感じられるようにしている。自分や友達の良いところを見つけたり、これからの私の活動が提示されるなどの配慮がされている。さらに、29ページの真ん中に「発見カード」というカードが掲載されているが、日本文教出版の教科書には、このカードが随所に提示されている。「発見カード」以外に「困ったよカード」や「なりきりカード」などのカードを各所に示して学習活動を行おうとしているのが特徴である。</p>
西中委員長 職務代理者	各社とも非常に工夫をされているようで選定が難しいが、選定委員会の答申はどうなっているか。
教育部理事	選定委員会では、自分の成長を取り扱ったページ数が多いほうがよいとか、学習活動のためにポイントをまとめてあるページがよいとか、活動の注意点やポイントがわかりやすく示されているほうがよいという意見があった。また、低学年は別冊に分けるより持ちやすいので、教科書は1冊のほうがいいのではないかという保護者的な観点という意見も出た。総合して採択の教科書は東京書籍と学校図書と教育出版の3社の教科用図書を挙げさせていただいた。
西村委員	今回選定されたのがこの3冊ということだが、現在使用している教科用図書はこの中に含まれているのか。
教育指導課長	現在使用している教科書は啓林館であり、選定委員会の答申の3社に入っていない。
西村委員	それについて何か理由が具体的にあるのか。
教育指導課長	前回の採択では、内容の工夫やさまざまな配慮もあったが、啓林館は、別冊の「生活名人ブック」等で子どもの自主性への配慮が評価されて現行の教科書を採択させていただいた。今回は選定委員会において別冊仕様だと持ち出せて便利ではあるが、なくしてしまう子どもが出ないか心配であるとか、なくす子どもが出ないように教師が回収していると

	日常的に使えないのではないかなどの意見もあった。また各社の教科用図書で学習活動のためにポイントをまとめているページが充実されたことも含めて、児童が使う教科用図書として、より適切ではないかということで、先ほどの3社を挙げさせていただいた。
藤原教育長	教科書に求めたいポイントとして「1・2年生で使う教科書として、子どもたちが興味関心を持って意欲的に学習できるように工夫されていること」とあるが、その点についてどのような配慮がされているか。
教育指導課長	3社とも、学習の進め方をわかりやすくまとめて表記している。また、ページの各所に色やマークを使ったり、キャラクターの活用といった形で、どの教科用図書も児童がわかりやすいように工夫されている。幼稚園、保育所・保育園等から小学校へのつながりを意識したスタートプログラムの充実や教員が指導しやすいように配慮されたつくりになっている。
吉村委員	資料の選定のポイントのところで、「子どもたちが活動しやすいように具体例が多く取り上げられていること」というのがあるが、その点への配慮はどうか。
教育指導課長	選定委員会においても、生活の教科用図書から学ぶというよりは教える先生や子どもたちがイメージできる参考書的なものではないか、図鑑代わりに使えるといいという意見があった。体験不足の児童や、また本市にもたくさん増えてきている経験年数の少ない先生がいるという昨今、この点については非常に大切な点であると考えている。特に、学校図書の教科用図書はワイド版で見やすく、具体的な遊び等がイラスト入りで解説されている。また、後ろのページに「学び方図鑑」「生き物図鑑」がついており、図鑑代わりに使用できると考えている。
西村委員	確かに「生き物図鑑」というのが学校図書の後ろにあって、見つけたら印をつけようという欄がある。これを見ながら、見つけて丸をつけていくということで、子どもたちが競っていろいろ探検しようということにもなるような気がして、これはすごくいいと思った。
佐野委員長	3年生から理科、社会といった教科に学習が進んでいくが、この辺のつながりについて配慮されているのはどこか。
教育指導課長	3年生から、生活が理科、社会に変わっていく。3社とも理科、社会の学習につなげられるよう配慮をされている。東京書籍では、風の力や空気を利用したおもちゃづくり、また、見つけたことを地図にあらわす町探検マップなどを取り上げている。学校図書では、ゴムの力や風の力、風力を利用したおもちゃづくり、また社会では、町の季節図鑑に日本各地の様子や伝統的な行事等を取り上げている。教育出版では、風の力や磁石の力を利用したおもちゃづくり、季節ごとの町の様子と合わせて、昔からの伝統的な行事や日本各地の行事を取り上げている。
佐野委員長	今の質疑、報告を踏まえて、小学校生活の教科用図書は、学校図書の教科用図書を採択することに異議ないか。
各委員	異議なし
佐野委員長	次に、小学校の音楽について審議を行う。
教育指導課長	音楽については、出版社が2社のみである。2社ともに、音楽に親しみ、豊かな情操を養う内容が取り扱われている。それぞれの特徴としては、教育出版は、歌唱教材、鑑賞教材、器楽教材という関連づいた流れで学習できるように工夫をされている。一方、教育芸術社は、題材や教材の狙いが児童にもわかりやすい言葉を用いて示され、見通しを持って学習できるように工夫されている。
西中委員長 職務代理者	選定の答申資料の中で「自分が感じたことや心に描いたことを声や楽器で表現する」という記述があるが、こういうことへの配慮はどうなっ

	ているか。
教育指導課長	どの教科用図書も、よく配慮はされていると思う。特に、教育芸術社の3年生の教科書18ページ、リコーダーの指導の部分では、ステップ1、ステップ2、ステップ3とステップを設定して、活動のヒントを示すことで、教材が子どもたちにも教師にもわかりやすく、児童が工夫して学習を行うことができるようにされているように思う。また、同じく3年生の40ページの音の特徴を生かして音楽をつくりましょうというところで、音楽づくりで少しずつ楽器を合わせて音楽をつくり上げている様子がわかりやすく説明されている。表現領域の内容で、歌唱について取り上げている箇所も多く、合唱活動が活発な本市にとっては内容が合致しているものと考えます。
佐野委員長	高石市と忠岡町で毎年連合音楽会を行っている本市としては、合奏や合唱の取り組みに配慮されているのはよいことと思う。
藤原教育長	求めたいポイントのところに「共通事項に対する配慮がなされていること」とあるが、その点についてはどうか。
教育指導課長	どちらの会社の教科用図書についても、巻末に共通事項をまとめて示している。全ての音楽活動を通じて繰り返し学習できるように配慮されている。
佐野委員長	今の質疑、報告を踏まえて、小学校音楽の教科用図書は、教育芸術社の教科用図書を採択することに異議ないか。
各委員	異議なし
佐野委員長	次に、小学校の図画工作について審議を行う。
教育指導課長	図画工作については、出版社が2社のみである。2社ともに発達段階に配慮し、自然材料や人工材料を生かしながら造形を楽しむ活動が示されている。 それぞれの特徴としては、開隆堂は、一つの題材に対し多様な表現方法や造形活動が設定され、個々の児童が幅広く活動できるように配慮されている。一方、日本文教出版は、自分が表現したいことを材料や表現方法を組み合わせることにより活動の展開に幅を持たせることができるように配慮されている。
吉村委員	資料の「子どもたちにつけたい力に」のところに、「感じたことや想像したことなど自分の感性を働かせながら、型や色、イメージであらわす力」という項目があるが、その辺の配慮についてこの2社はどうか。
教育指導課長	選定委員会においても、教科用図書を使って学習するというより、活動を重視した教科であるという意見が出されていた。どの教科用図書も技能の確認や創作のヒントのページがあり、子どもたちが教科用図書を参考に想像できるように工夫がなされている。特に、日本文教出版では、児童に提示している材料や用具の紹介が多く、例えば3・4年生の下49ページの部分に体を使った鑑賞というのがある。造形活動における発想や構想を大切にしながら、児童の主体性に配慮をしていると考えます。
西中委員長 職務代理者	日本文教出版は、それぞれの題材で学習するところで、掲示板のような形で、全学年共通してやっている。そういうところで、何を学習するかということが非常に明確に示されているので、主体的な学習の展開には非常に役に立つのではないかと思う。
西村委員	全部のページで緑の掲示板があって、楽しんでもいいこと、考えること、工夫することという項目があって、特に何を大切にするかという線を引いてあったりしており、そういう意味でそれぞれの活動が明確に伝わっているという気がする。 子どもが主体性を持って活動に取り組むこともできるようにする工夫

	というのも大事だと思うが、この点についてはいかがか。
教育指導課長	例えば、開隆堂の3・4年生の上の37ページでは、靴下や手袋を活用し、靴下や手袋に魔法をかけるということで、子どもたちに主体的にどうことができるかというのを考えさせる活動を取り上げている。また、日本文教出版の3・4年生の下22ページでは、身近にある段ボールを使って夢の町へようこそということで、夢の町をつくっている様子が写真で掲載されている。これら、身近な材料を用いた創作活動等を取り上げて、日常生活と接続するとともに、子どもたちが主体的に活動できるよう工夫されている。
佐野委員長	今の質疑、報告を踏まえて、小学校図画工作の教科用図書は、日本文教出版の教科用図書を採択することに異議ないか。
各委員	異議なし
佐野委員長	次に、小学校家庭について審議を行う。
教育指導課長	家庭についても、出版社が2社のみである。 2社とも多数の実践・体験活動の場が設定されており、実習・制作例も豊富に取り上げられている。それぞれの特徴として、東京書籍については、各題材で身につける技能を明確にし、主体的な活動を促すように配慮されている。一方、開隆堂については、一口メモで学習に関連した用語を説明し、児童が興味関心を持ちやすいように配慮されている。
西中委員長 職務代理者	2社の目次を比べると、東京書籍のネーミングが非常にいい。「我が家にズームイン」とか「目指そう買い物」とか、独特のネーミングをしている。単元の学習目的が非常によくわかって、また児童の学習への導入がスムーズに行くのではないかと思う。
藤原教育長	うまいネーミングになっていると思う。
吉村委員	資料2、子どもにつけたい力に「日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能」とあるが、それらを踏まえて、その点への配慮も盛り込まれているか。
教育指導課長	2社の教科用図書とも、活動の目当てを示して、活動を行った後は振り返りがしっかりと行え、知識や技能の定着ができるようによく配慮されていると思う。また、教科用図書の後ろのページでは、技能の確認ができるように工夫がなされている。特に、東京書籍の114、115ページは、カラー見開きになっており「いつも確かめよう」というタイトルがついているが、こちらは、はさみや包丁の使い方、裁縫の縫い方の技能の確認の際に、右きき、左きき両方の写真があり、ユニバーサルデザインを意識したつくりになっている。
藤原教育長	選定のポイントに「家庭生活を含めた生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる内容が充実していること」とあるが、その点の配慮はどうか。
教育指導課長	どちらの教科書もよく配慮されている。開隆堂の33ページ「家庭で実践しよう、チャレンジコーナー」というコーナーの「昼食をつくってみよう」で、ゆで卵サンド、そうめんが、「弁当包みをつくろう」「整理整頓してみよう」で、学習したことをもとに発展的な取り組みができるようになっている。また、東京書籍の10ページの左上「いつも確かめよう」で、日常生活への接続が考えられるように、2社ともそれぞれよく配慮されている。特に、東京書籍では、心を添えるという日常生活に大切な心情を育む場面というのが随所に盛り込まれているように思う。
西村委員	東京書籍の場合は買い物名人という形で載っているが、どちらの教科書にも、お金の使い方といったことが取り上げられていて、それぞれの年代に応じての消費者教育をしていかなければいけないという意味での配慮が適切にされていると思った。

	特に、東京書籍の裏表紙には「持続可能な社会を目指して」という掲載があるが、環境教育について配慮がされていて、とてもよかったと思う。
佐野委員長	今の質疑、報告を踏まえて、小学校家庭の教科用図書は、東京書籍の教科用図書を採択することに異議ないか。
各委員	異議なし
佐野委員長	最後に小学校保健について審議を行う。
西村委員	5社の教科書があるが、それぞれの教科書の特徴はどうか。
教育部理事	<p>5社とも生涯にわたって健康な生活を送るための資質や能力の基礎を養う内容が取り扱われている。特に選定委員会では、毎週する教科ではないので、振り返りができた方が良く、あるいは活用する場面があれば良いという意見が出たので、そこについての各社の特徴を5・6年の教科書を使いながら説明させていただく。</p> <p>東京書籍の5・6年の7ページのところに、学習活動の中の「活用して深めよう」という欄を使って、学んだ知識をもとに自分でできることは何かを考えさせ、生活の中で実践するための活動内容が盛り込まれている。大日本図書の場合は、書き込みではないが、活用という欄で学習したことを自分の生活の中で実践するための活動内容になっている。さらに、リンク国語で、他教科との関連もすぐわかる。文教社の5ページの最後の「こんなときあなたなら」のところで、自分で考える学習活動が設けられ、修得した知識を実践につなげ、自分の生活に生かすことができるような内容になっている。光文書院の7ページの下の「学んだことを当てはめよう」で、学んだことをもとにして考えるコーナーを設けて、自分の生活に結びつけることができるようになっている。学研教育みらいの5ページ以外の各時間の学習の終わりに「活用」という部分がある。「活用」で、修得した知識を実践につなげ、自分の生活に結びつけることができる内容になっている。</p>
吉村委員	選定委員の答申を教えてください。
教育部理事	保健という学習について、選定委員会の中では、ワークシート代わりに書き込めるページがあるのは、毎週実施するわけではない保健の学習への配慮がなされてよいという意見、あるいは大切なところが太字で示されているというのがわかりやすくよい、学習の振り返りがしっかりできるほうがよいというような意見があった。また、3・4年の中学年では、シールの工夫が使われていて、工夫している出版社もあったが、それら全てのことを踏まえて、東京書籍と光文書院と学研教育みらいの3社の教科用図書を挙げさせていただきたい。
佐野委員長	資料の子どもたちにつけたい力に「身近な生活における健康・安全に関する内容を理解し、健康の保健増進を図る力」とあるが、その点への配慮はどうか。
教育指導課長	<p>3社の教科用図書とも、特に安全面についての記述の充実が図られている。</p> <p>東京書籍では、やってみよう、振り返ってみようなどの学習活動が取り入れられ、実践的に理解するための内容となっている。光文書院では、自分の経験や考えをもとに、話し合うという学習活動が取り入れられ、実践的に理解するための内容となっている。学研教育みらいでは、考えてみよう、やってみようなどの学習活動が取り入れられ、実践的に理解するための内容となっている。各社さまざまな工夫や配慮を行っており、そのことにより健康な生活を送るための資質や能力の基礎を育てる内容となっている。</p>
吉村委員	安全面に特に配慮された記述が充実しているということだが、選定の

	ポイントの資料に「健康や安全に対してより理解を深める配慮がなされていること」があるが、その点への配慮はされているか。
教育指導課長	どちらの教科用図書も、学習の目当てや学習の進め方のマークによりわかりやすくする工夫がなされている。その中でも、特に学研教育みらいの5・6年生の28ページには「学習のまとめ、けがの防止」ということで、学習したことや日常生活につなげるために考え、まとめるページがあり、前回の振り返りや学習したことの確認等に活用できるワークシート形式になっている。
西中委員長 職務代理者	心の健康というのが非常に重視されている。特に学校の中で、いじめが社会問題になっている。そういう心の健康という面で不安とか悩みについての解消ということは非常に大事になってくる。その取り扱いはどこでもしているように思うが、特に特徴的なことはあるか。
教育指導課長	どちらの教科書も、心の健康の内容で取り扱っているが、例えば学研教育みらいでは、10ページから不安や悩みへの対処ということで、不安や悩みを抱えたときにはどうしたらいいのかということを示している。その中でスクールカウンセラーの話で、そういうときはこうしたらいいということが示されている。
藤原教育長	学研教育みらいで、喫煙とか飲酒、薬物乱用を防止するためのページがとても工夫されていて良いと思った。
西村委員	教育長が言ったところも、本当に具体的でわかりやすいと思うし、それも含めて、ワイド版になっているので、とても中身が見やすいと思う。
佐野委員長	今の質疑、報告を踏まえて、小学校保健の教科用図書は、学研教育みらいの教科用図書を採択することに異議ないか。
各委員	異議なし
佐野委員長	<p>以上で、小学校の全種目を決定した。</p> <p>小学校国語、光村図書「国語」、小学校書写、東京書籍「新編新しい書写」、小学校社会、日本文教出版「小学社会」、小学校地図、東京書籍「新編新しい地図帳」、小学校算数、日本文教出版「小学算数」、小学校理科、大日本図書「たのしい理科」、小学校生活、学校図書「しょうがっこうせいかつ」、小学校音楽、教育芸術社「小学生の音楽」、小学校図画工作、日本文教出版「図画工作」、小学校家庭、東京書籍「新しい家庭」、小学校保健、学研教育みらい「新・みんなの保健」。</p> <p>以上が、平成27年度使用小学校教科用図書である。</p>

教育長の報告の要旨

・報告第1号 平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに 評価結果報告書（平成25年度対象）について

教育総務課長 代理	<p>本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表するものであり、平成25年度の事務について点検及び評価の結果を報告書のとおり作成したので、報告するものである。</p> <p>内容について、1ページから12ページまでは、点検・評価の概要や点検・評価の手法等について例年と同様の内容で掲載させていただいている。</p> <p>次の13ページには、平成23年度から平成25年度までの決算額の推移を掲載させていただいた。</p> <p>次の14ページには点検・評価の一覧表を掲載させていただいている。点検・評価の項目としては、教育総務課が健康教育、中学校給食実施など3件、教育指導課が信頼される学校づくりなど10件、生涯学習課が生涯学習の推進など5件、たかいし市民文化会館が文化芸術の振興1件、図書館が読書活動の推進1件の合計20件である。また、達成度については、達成ということと事業の内容が評価年度に予定していた計画どおり実行されているというA評価のものが11件ある。また、ほぼ達成ということと、事業の内容が評価年度に予定していた計画どおりほぼ実行されているというB評価のものが9件ある。また、C評価及びD評価のものはゼロ件である。</p> <p>なお、15ページから34ページにかけて、各項目の点検・評価シートを掲載させていただいているが、今年度からよりわかりやすい報告書とするため様式を変更している。</p> <p>まず、昨年度まで「項目」という名称の項目を「施策」という名称に改めた。これは、施策における事業の位置づけを示すために変更したもので、平成26年度（平成25年度対象）の点検・評価報告書までは従前のとおり教育基本方針の重点目標を表記するものとし、平成26年4月に平成31年度までの高石市の教育の基本方向を示した「たかいし教育ビジョン（高石市教育振興基本計画）」が策定され、以後、これに基づき毎年度の教育基本方針が策定されることとなっているので、平成27年度（平成26年度対象）の点検・評価報告書からは、施策の欄に教育基本方針を加え、たかいし教育ビジョンの項を設け該当する施策名を記載する予定である。</p> <p>次に、目標の項目を目的と25年度の目標としているが、これについては事務事業の目的と密接な関係にある当該年度の目標について絞り込んで記載するものとしたものである。教育における中長期の目標については、短期間の達成が困難であるため、中長期目標のうちでも当該年度の重点目標を中心とした短期の目標を峻別して設定したものであり、従前の様式では目的と目標の書き分けが曖昧になりがちだったことから、先に事業等の目的を簡潔に記載し、続く具体的な目標には、項目に①、②の番号を付して記載することとしたものである。さらに「主な取り組み」及び「実績と取り組みの効果」の項目を統合して、項目の名称を「主な取り組みと数値であらわされる実績及び効果」とした。これは、従前の様式では実績と効果がほぼ同内容となるが多かったため、項</p>
--------------	---

	<p>目を統合し、あわせて実績等を可能な限り数値化して表記することで、実績や効果について客観的に評価できるようにするため変更したものである。</p> <p>次に、35ページで地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定に基づき、点検及び評価を行うに当たって3名の点検評価委員から意見を頂戴したので、こちらに掲載させていただいている。</p> <p>最後の36ページで教育委員会としての総括ということで、評価委員からいただいた意見に基づく今後の点検・評価の実施方針と教育委員会の施策への反映及び課題への取り組みについて掲げさせていただいている。また、議会への提出及び公表について、9月に開催予定の市議会定例会へ提出し、本市行政資料コーナー及びホームページにて公表してまいりたい。</p>
西中委員長 職務代理者	<p>説明を聞いて、26年度の評価は当該年度に目標が絞られたので、達成する実績なり効果が明確に評価でき、非常に良くなったと思う。</p> <p>聞きたいのは、一応教育委員会の点検・評価報告となるが、この評価報告が26年度の現場の教育実践にそれぞれどのように生かされていくのか。これは、もちろん教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検・評価であるが、現場の教育と密接な関係がある。だから、この評価を受けて、本来で言えば25年度の評価をもって26年度のスタートにするものだが、それが作業を進めていく中で、なかなかうまくできない。それで今、1学期が終わった時点でこういうものが出てくるので、それはいたし方ないが、現場実践にどのように反映させていくか。特に、B評価を受けたものについて。またA評価については、それだけ非常によかったもので、それを現場に話して、そういうことについてさらに取り組むという手続はどんなふうに進めるのか。</p>
教育指導課長	<p>今後の課題のところ、今年度取り組むべきことを記載している。それは、年度当初に示している目標、方針等にも反映しているものである。それに基づき、この課題については現在も1学期から克服に向けて取り組んでいるところである。</p> <p>なお、これが完成した段階で、校長会を通じて配付し、各学校に周知を図りたいと考えている。</p>
西中委員長 職務代理者	<p>課題は成文化されて出るので、既に25年度末にいろいろ課題が出ている。そういう課題は26年度の教育、あるいは生涯学習課全てにわたって、26年度の実践に当たっての目標に具体的に具現化されていると考えていいか。</p>
教育指導課長	<p>そのとおりである。</p>

・報告第2号 教育委員会の後援等に関する報告について

各課長	<p>後援承認したものについて説明。</p>
西村委員	<p>NHK防災サバイバルは、後援という形で今回後援承認出ているが、資料を見ると、クラスとか学年単位で学校で申し込みをすることが前提になっているが、このあたりはどういう予定になっているのか。</p>
教育指導課長	<p>防災サバイバルは、近畿管内では和歌山放送局において昨年度実施されており、その内容と同様のものを大阪でも実施したいということで、NHKの大阪放送局から話が来たので、本市アプラホール大ホールを使用して、市内の各小学校5年生・6年生が参加できる形で話を進めている。特に、優先的に高石市内の小学校5・6年生を何小学校から参加予定ということを現在考えている。こちらについて、まだどの学校が、全</p>

	ての学校が参加できるか、ほかの行事との関係で参加できないかということがある。本市は津波浸水区域も抱えている市域であるのでホームページ等で確認した和歌山の状況に応じ、是非こういった体験を子どもたちにさせていきたいと考えているので、校長会で参加を求めていきたいと考えている。
西村委員	後援だけではなくて参加も含めて検討しているということで理解した。
西中委員長 職務代理者	非常にいいことだと思う。防災のまちづくりということで、地域を挙げて今いろいろと取り組んでいる。特に最近自主防災ということで力を入れているので、小学生5・6年の子どもにそういうことについて関心を持ってもらうことは、非常に大事だと思う。これは、NHKからの情報か。特に高石市としてこういうことをやるということの、その広報というのは何かやるのか。
教育指導課長	まだ現時点で広報については予定していないが、参加校が決まったら、広報等や実施した状況について、本市の広報紙、またはブログ等で公表していきたいと考えている。
吉村委員	NHKの内容で、実施する内容と本市がやっている各小学校における防災訓練の内容と合致しているのか。すごく乖離したことをNHKがするならば、内容的に何かすり合わせ的なものはやっているのか。
教育指導課長	内容については、現在まだ案の段階で後援承認している。本市担当者とNHKの担当者がすり合わせをしており、本市に合致したものに是非していきたいと考えている。
西中委員長 職務代理者	これの市の担当は教育委員会か、それとも危機管理課か。
教育指導課長	教育指導課である。
西中委員長 職務代理者	危機管理課は関係ないか。
教育指導課長	教育指導課が窓口となっているが、防災関係は危機管理課がメインの課であるので、今後そちらとも調整しながら進めていきたいと考えている。

・報告第3号 教育委員会関係諸行事等の報告について

各課長	平成26年7月16日から平成26年8月12日までの行事について説明。
各委員	質問なし。

その他委員長が必要と認めた事項

西中委員長 職務代理者	教育指導課で、部活がすばらしい成績であるが、部活を全国レベルあるいは近畿レベルの実力で維持しようと思ったらかなり練習が要る。そのことについて、人事的な面とか、あるいは予算的な面で配慮をしているとかそういうことをやっているのか。
教育指導課長	クラブの活動費については、各学校で分配している。予算は、フラットな形で、部員数とか、前年度かかった経費等を含めての検討をして、配分していると思う。特に、全国大会出場において顕著な成績があったために予算が上がるというようなことはない。 ただ、顧問の配置は、人事異動の面でも、中学校は教科での異動になるので、なかなか難しい面もあるが、本市においては、ありがたいことに非常に力のある指導者が本市に配属されているので、その指導者により指導を進めており、できる限り配慮は考えていきたいと思うが、それ

	だけで異動ということはないと考えている。
西中委員長 職務代理者	部活で、夏休みはかなり返上してやるとかいろいろやっていると思うが、保護者の負担は、後援会とかであるのか。
教育指導課長	例えば高南中学校ハンドボール部、女子ハンドボール部では、ここ数年、全国大会に何度か出場していることもあり、後援会というより保護者会のような形で試合のときに一緒に同行して、子どもたちのカバーをしていただくということは聞いている。 ほかのクラブでも、開かれたクラブということで、できるだけ顧問が保護者に是非見学に来ていただきたいという中で、いろいろと飲み物の差し入れ等はいただいていると思うが、特に後援会組織として正式には無いと把握している。
西中委員長 職務代理者	経費的な負担の強要はないが、自主的に後援会組織というのができているものもあるということか。
教育指導課長	そのとおりである。
教育部理事	補足であるが、予算的な部分では全国大会出場と近畿大会の出場について、試合会場が近畿大会といっても、例えば今年のハンドボール部は兵庫県の加古川で行っている。その選手の派遣費用や、全国大会で今度テニスでは愛媛県へ行くが、全国大会に出場することについては予算化しており、派遣の費用を補助するための予算は組んでいる。
西中委員長 職務代理者	派遣費用の一部かそれとも全額か。
教育部理事	全額である。ただし、一定の基準があり、その基準額については負担すると定めている。
西中委員長 職務代理者	それは全国レベルかそれとも近畿レベルか。
教育部理事	近畿以上である。基準は、中学校体育連盟主催の近畿大会と全国大会出場のチームあるいは個人に対して旅費・宿泊費等の負担を補助するというふうに予算化している。